



飼育日誌

1/2	ベニコンゴウインコ	巣箱の中の卵2個。1つは割れていた。
1/4	フンボルトペンギン スパールバルライチョウ	右紫おふらつき・削痕あり、隔離飼育切り替え。 コッシーお 体重測定実施。883g(12/21より▲17g)
1/5	ニホンアナグマ	冬ごもりしないため、今日から給餌再開。
1/9	ユキヒョウ	アサヒお 収容時、リヒトの部屋の前で鼻鳴き。
1/11	チンパンジー	イベント(J太郎・K太郎 成人式)。
1/13	フタコブラクダ アフリカゾウ	福お メスに対してかなり積極的に近寄る。 疳痛症状のような行動確認。投薬。
1/18	グリーンイグアナ	アナお 食欲減退継続。尿酸、排便(血便)各1カ所。便中の内容物増加傾向。
1/24	カピバラ	大豆お 病院からカピバラ舎へ移動。
1/31	レッサーパンダ	ケンシンお 令花に対して恋鳴きをしているのを初めて確認。
2/1	ニホンコウノトリ	巣材投入。
2/10	カリフォルニアアシカ	マヤお 左口唇炎、口内炎用軟膏塗布。アイラお 患部に噛まれたが、軽傷。経過観察。
2/11	ニホンイヌワシ	第二ペア(西目ペア)第1クラッチ2卵目の採卵。
2/13	プレーリードッグ	キャスおムーンお繁殖に向けた同居開始。
2/14	ミーアキャット	終日同居開始。ゆかりお 抗生剤内服(本日で終了)。
2/15	コモンマーモセット	もめんお、モコおの交尾確認。
2/16	レッサーパンダ	ひなた・令花、交尾確認。
2/17	モルモット	橋渡り練習。
2/25	ニホンイヌワシ	たつ子お 2卵目を産卵。順調に抱卵中。
2/27	コモンマーモセット シロマダラ	仔1頭天井フェンス網目すり抜け上に上がっていた。ネット設置。 全身白濁。
3/2	ニホンイヌワシ	孵卵器2・3卵目をたつ子へ移入。たつ子3卵を孵卵器へ移入。
3/5	コツメカワウソ ミーアキャット	全頭の餌にゼンビタンを添加開始。 ゆかり性別再確認、産箱準備。
3/6	タンチョウ	みっちゃんお左翼骨折。
3/7	シマフクロウ	アオハお 2卵目産卵(朝05:55)。
3/8	アムールトラ	カサンドラお 軽度な発情兆候あり。ローリングするが鼻鳴きなし、後日複数人で確認。
3/9	タンチョウ チンパンジー	みっちゃんお断翼。 ジェーンお リンゴジュースを飲む際、右側からガラガラこぼれる。
3/10	アムールトラ	同居実施。
3/11	インドタテガミヤマアラシ	おこげお・トロワお同居。
3/12	アカカンガルー ツキノワグマ	ヒラメお移動(馬舎からカンガルー舎)。 ルビーお 冬ごもり終了。
3/13	アフリカゾウ トナカイ チンパンジー	直腸に温水を流し込む。 しなのお 両角落角完了。 K太郎お、咳あり。ボンタお咳き込み見られず。朝食時に小児用風邪薬をボンタお、ジェーンお、K太郎おに内服。
3/16	アメリカオオコノハズク プレーリードッグ	カオお嘴・爪切り。 おの交尾行動減ってきている。
3/17	ニホンコウノトリ	3卵目産卵。ペアおと単独おとの闘争あり。
3/18	ライオン	トモお と体給餌。

3/19	プレーリードッグ チンパンジー	ボンお妊娠の可能性。 ジェーンお 寝室に階段設置。
3/20	シマフクロウ	破卵、巢内に殻等なく回収できず。
3/22		孵卵器。ニホンイヌワシの卵、検卵。5卵中2卵を残し、3卵は冷蔵保存。
4/3	ニホンイヌワシ	孵卵器で管理していた2卵について中止卵と判断。運用を終了した。
4/10	シマフクロウ	2クラッチ目産卵。
4/11	ノドジロオオキザル マーコール	茶太郎おとエディおの交尾確認。 ゆべしおの腹回りがふっくらしてきた。
4/12	ホッキョクオオカミ	ニッキーお 採食スピード遅い、歯牙疾患・顎疾患疑い。後日麻酔下検査予定。
4/15	ニジギシ	1個産卵あり。(現在計6個)抱卵せず。
4/21	ヒツジ	キャンディお 毛刈り実施。
4/24	キリン	2頭体重測定。
5/2	スパールバルライチョウ	照明24h継続。
5/17	アメリカビーバー	月おチャットおへのマウント行動確認。再度おの隔離。
5/18	フタコブラクダ	全頭で乾草の残餌多め。茎が太い事が原因と思われる。
5/19	ニホンリス ニホンコウノトリ シマフクロウ	お群れ同居。 巣台、擬卵撤去。 アオハお 巣箱内にいるが抱卵していない。
5/30	キョン	ノゾムお 左角落下し、出血あり。
5/31	アメリカビーバー	午後同居実施。
6/1	レッサーパンダ	高病原性鳥インフルエンザ警戒態勢解除。 お2頭 妊娠の可能性があるので、当面の間非展示。
6/2	インドクジャク キリン カナダヤマアラシ	インコ舎サッシ外し。 全羽展示場に放飼。小屋Cのみ扉オープン。 2頭とも採血。ケイタおは2年ぶり。 採食不良により点滴と投薬実施。動物病院に移動(避暑のため)。
6/4	アメリカビーバー	チャットお 下顎門歯切除。
6/5	アムールトラ	午前にシュウおとカサンドラお 放飼場で同居(1日目)。
6/6	キリン	ケイタお 角当てにより仕切り扉が開き、2番室に移動していた。
6/10	トナカイ	アポロおと群れの同居開始。
6/11	ラマ	モスおキリン舎でヒロおと同居開始。
6/16	コモンマーモセット	モコお腹囲膨満、妊娠の可能性あり。
6/17	エミュー	外展示場で3羽の同居。
6/18		飼育水槽下ゼニナガシメ稚魚浮出。
6/20	ニホンリス	由利子お 乳頭目立ってくる。妊娠の可能性あり。
6/21	スパールバルライチョウ	コッシーお避暑のため隔離棟へ移動。
6/23	チンパンジー シマフクロウ	K太郎お 本日も新しい洗濯機に警戒して鳴く。 スポットクーラーON。
6/26	マーコール	仔お 右眼に羞明あり。眼軟膏塗布。
6/27	レッサーパンダ	令花お いつもより腹部が出ている。右下の乳首も出てきている。BW増加。
6/28	チンパンジー ニホンザル	J太郎お 未明の地震の影響か、軟便気味。便量も多めだった。 サル山 空き缶を持っている個体がいるが回収できず。
6/30	ミーアキャット	出島で餌やり練習。



お客さまの声

- 4/14 トナカイ、ホッキョクオオカミが展示されているのは感動でした。レッサーパンダのまんまタイムも写真の撮りがいいがあり、素晴らしいです。また、来園したいと思います。
- 4/29 動物病院のお話を始めて聞きました。とても面白かったので定期的に実施してほしい。今後高齢の動物のケアについてお話を聞いてみたいです。
- 5/3 若い頃、現在40代の子どもたちを連れてきたことがあり、今回は本当に久しぶりの来園でした。素敵な動物園になっていて、1日大変癒やされました。
- 5/21 園内とても静かで動物たちがのんびり寝て過ごしているのが良い。なかなか度々くることは難しいですが冬にきてみたいです。
- 6/24 動物の写真を使ったグッズが大好きなので増やしてほしい。
- 7/8 思い出に残るシンリンオオカミたちのパネルがとてもすてきでした。各動物たちの手書きの個別説明もかわいかったです。
- 7/12 7/11の夕涼み動物園は天気がいにくでしたが、夜のガイド(訪問!となりの晩ごはん)の内容が興味深く面白かったです。

かたばた通信

この春、総務担当として異動し、庶務経理を中心とした業務に携わっています。異動前は、動物園は子どもや家族連れが楽しむ施設という印象でしたが、実際には、その魅力はそれだけではありませんでした。愛らしい動物たちの姿、季節の花壇や美術大学の学生によるアート作品、飼育員による手作り看板の数々、自然の美しさ。大森山動物園は、時間を忘れるほどの癒やしであふれていました。秋には、園内や隣接する公園で紅葉も楽しめます。その時期ならではの動物たちの様子や、ゆったりとした園内の雰囲気を楽しみながら、大人の方にも心安らぐ時間を過ごしていただければ幸いです。(高橋)

